

## 戦後処理

### 不発弾等対策事業

先の大戦において激しい戦闘が行われた沖縄県には、未だに多くの不発弾等が埋没していると推定されており、その処理が課題となっています。

これまで沖縄県で復帰後処理された不発弾等は平成28年度末時点で36,762件、総重量で2,015トンとなり、戦後72年を経過した今日でも、不発弾等の発見件数は依然として高い水準にあります。

内閣府では沖縄における不発弾等対策は県民の生命と財産を守る大切な事業と位置付けており、平成29年度は約28億円かけてその処理にあたっています。

<①石垣市内において発見された 250kg 不発弾 (平成 28 年 11 月)>



<②発見された不発弾を識別する自衛隊員>



<③不発弾処理のため土のうで防護壁を設置>



不発弾らしきものを発見した場合は、「1.さわらない 2.うごかさない 3.警察に連絡する」の三原則の遵守をお願いいたします。

内閣府では、沖縄県内で住宅等の新築・建て替え等を予定している人や事業者の方を対象に、建設予定地の磁気探査費用を補助しています。磁気探査費用の補助を希望される方は、各市町村の防災担当窓口へお申し込み下さい。

### 対馬丸平和祈念事業

遺族や生存者の高齢化が進む中、沖縄戦の悲劇の象徴である対馬丸事件(※)を後世に伝え、対馬丸遭難学童への哀悼と平和を祈念するため、内閣府では、公益財団法人対馬丸記念会が実施する次の事業について、平成14年度より沖縄県を通じて補助(補助率10/10)を行っています。

- ① 生存者等(語り部)による体験の語り伝え
- ② 対馬丸等の関連資料を収集・展示する特別展の運営
- ③ 対馬丸事件等を通して学校等と連携して行う平和学習の推進

<対馬丸事件>

昭和19年8月22日、沖縄から九州方面へ疎開する学童等1,788名を乗せて航行中の学童疎開船対馬丸が、鹿児島県悪石島(あくせきじま)沖で米軍潜水艦の攻撃を受けて沈没し、学童784名、引率教師(訓導・世話人)30名、付添者等668名、計1,482名(学童784名、一般698名)が死亡

<対馬丸記念館 外観>



<対馬丸記念館 展示室>



<平和学習(語り部による講話)>



対馬丸記念館では、対馬丸事件を後世に伝え、遭難学童への哀悼と平和を祈念するため、沖縄戦と対馬丸撃沈までの経緯、犠牲者の名簿・遺影・遺品(ランドセル、手紙など)、証言映像等で船倉内や漂流の状況の再現等が展示されています。

<対馬丸記念館>  
〒900-0031  
沖縄県那覇市若狭1-25-37(旭ヶ丘公園内)  
Tel. 098-941-3515